

# 社会福祉法人基督教児童福祉会愛隣園

## 2020年度 事業報告書

2020年度事業につき、その概要を以下のとおりご報告致します。

- [1] 2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を抑制する観点から、役員会等の開催を慎重に検討し、法人組織の強化と経営の透明性を図り、地域と利用者のニーズに対応した法人運営を効率的・効果的に行いました。  
苦情解決委員会の外部起用による中立な第三者委員を活用し、利用者からの苦情及びニーズを適正に把握し、解決に向けて取り組むことを重点的に行いました。
- [2] 当期の事業運営につきましては、児童福祉事業は児童養護施設愛隣園(定員34名)及び、地域小規模児童養護施設の男子寮と女子寮(各定員6名)を運営しました。  
2020年度は、福祉医療機構からの施設整備借入金の償還金を弁済し、将来に向けた新規事業の資金作りや車輻購入計画等を図り、施設経営の健全化を図ることが出来ました。  
 県補助事業による被虐待児等地域療育支援・連携体制構築補助事業(こころサポート)を継続して実施し、担当職員2名(療育支援コーディネーター、心理担当)により、要保護児童の療育支援と里親への支援を行うことが出来ました。  
県補助金を受けて、建物に関する防犯管理の強化に向けて防犯カメラ等の設置や、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組む、課題も多くありますが、問題解決に向けて防犯対策と生活環境の改善を図ることで、安心と安全を提供することが出来ました。
- [3] 障害福祉サービス事業においてはワークセンター愛の園の定員40名、グループホーム男子寮と女子寮の合計定員9名の運営を行いました。本体施設の提供するサービス事業のうち、就労移行支援事業の利用者1名を実習を通して順調に就労へ繋ぐことが出来ました。また、2020年2月より相談支援事業所じよいまーの運営を行い、相談件数も徐々に増え成果を発揮しているところです。今後も地域と利用者のニーズに沿った事業運営に取り組んでいきます。  
2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら、継続して事業運営を行い利用者支援に取り組むことが出来ました。
- [4] 今期の総合的な収益(経常増減差額)は36,898,003円の増収となり、財産状況は29,963,068円の増額で登記する純資産の合計額は1,195,540,311円となり、おおむね順調に推移しました。詳細については会計報告で報告致します。
- [5] 2020年度の社会福祉充実残額は発生していない為、社会福祉充実計画は作成してません。

### 1. 事業運営

事業種別	2020年4月～2021年3月
第1種社会福祉事業	①児童養護施設愛隣園(定員34名) ②地域小規模児童養護施設こひつじの家(定員6名) ③地域小規模児童養護施設ともしびの家(定員6名)
第2種社会福祉事業	①障害福祉サービス事業ワークセンター愛の園(定員40名) ②障害福祉サービス事業共同生活援助グループホーム愛さ(定員5名) ③障害福祉サービス事業共同生活援助グループホーム美さ(定員4名) ④相談支援事業じよいまー

### 2. 役員・評議員の構成《2021年3月31日現在》

(1)役員:定数理事6名以上8名以内、監事2名(理事8名、監事2名)現員10名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席回数
理事長	山代 寛	地域福祉実情者	2019年 6月 14日	3回
理事	根川 清義	地域福祉実情者	1991年10月29日	3回
理事	高里 鈴代	地域福祉実情者	2005年10月29日	3回
理事	上原 利恵子	地域代表者	2009年10月29日	3回
理事	伊波 美智子	福祉事業経営識見者	2015年10月29日	3回
理事	金城 正典	地域福祉実情者	2017年6月20日	3回
業務執行理事	仲宗根 岩雄	愛の園施設長	2006年 4月 1日	3回
理事	上江洲 肇	愛隣園施設長	2019年 6月 14日	3回
監事	宮里 善博	財務資格者	2017年6月20日	3回
監事	島袋 裕美	福祉事業経営識見者	2016年4月1日	3回

## (2)評議員:定数7名以上10名以内(評議員10名)現員10名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席回数
評議員	喜舎場敏子	地域代表者	2005年10月29日	1回
評議員	望月 智	教会関係者	2007年10月29日	0回
評議員	又吉京子	福祉経験者	2009年10月29日	1回
評議員	花城静子	福祉経験者	2010年10月22日	1回
評議員	又吉丈夫	地域代表者	2011年10月29日	1回
評議員	保良昌徳	学識経験者	2011年10月29日	1回
評議員	比嘉美恵子	福祉経験者	2013年10月29日	1回
評議員	砂川麻世	学識経験者	2015年10月29日	0回
評議員	田場みどり	家族代表	2017年 4月30日	1回
評議員	石川健一	地域代表者	2017年 4月30日	1回

## (3)評議員選任・解任委員会(委員5名)現員5名

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席回数
委員(監事)	島袋裕美	福祉経験者	2017年2月1日	開催無し
委員(外部)	神里博武	福祉経験者	2017年2月1日	開催無し
委員(外部)	村上尚子	学識経験者	2017年2月1日	開催無し
委員(職員)	金城幸光	養護課長(愛隣園)	2017年2月1日	開催無し
委員(職員)	桃原 学	支援課長(愛の園)	2017年2月1日	開催無し

## (4)苦情解任委員(委員6名)

区分	氏名	資格等	就任年月日	出席回数
第三者委員	宮国幸子	福祉経験者	2017年 4月 1日	6回
第三者委員	久高 整	福祉経験者	2019年 4月 1日	6回
苦情解決責任者	仲宗根岩雄	愛の園施設長	2017年 4月 1日	5回
苦情解決責任者	上江洲 肇	愛隣園施設長	2017年 4月 1日	3回
苦情受付担当者	桃原 学	愛の園職員	2017年 4月 1日	4回
苦情受付担当者	金城 幸光	愛隣園職員	2019年 4月 1日	6回

## 3. 理事会・評議員会及び監事監査及び外部会計顧問の実施

## (1)理事会の開催

第1回理事会 2020年5月28日(木)	第1号議案	経理規程一部改正の承認
	第2号議案	ワークセンター愛の園運営規程一部改正の承認
	第3号議案	2019会計年度事業報告並びに計算書類等の承認
	第4号議案	定時評議員会の招集の件
	業務執行報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告
第2回理事会 2020年12月5日(土)	第1号議案	育児・介護休業等に関する規程一部改正の承認
	第2号議案	給与規程一部改正の承認
	第3号議案	就業規則一部改正の承認
	第4号議案	定年後再雇用就業規則一部改正の承認
	第5号議案	非常勤職員就業規則一部改正の承認
	第6号議案	無期転換職員就業規則一部改正の承認
	第7号議案	2020会計年度補正予算の承認
	第8号議案	ワークセンター愛の園施設長の定年延長
	業務執行報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告
第3回理事会 2021年3月29日(月)	第1号議案	定款細則一部改正の承認の件
	第2号議案	経理規程の一部改正の承認の件
	第3号議案	給与規程一部改正の承認
	第4号議案	ワークセンター愛の園運営規程一部改正の承認の件
	第5号議案	2020会計年度補正予算の承認
	第6号議案	2021年度事業計画の承認の件
	第7号議案	2021会計年度予算の承認の件
	第8号議案	任期満了に伴う苦情解決第三者委員の選任
	業務執行報告	理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告

## (2)評議員会の開催

第1回評議員会 2020年6月19日(金)	報告事項	2020会計年度事業報告の件
	決議事項	2020会計年度計算書類等の承認の件

(3)監査の実施

監事名	監査実施日	監査項目
島袋裕美 宮里善博	2020年5月18日(月) 午前10時～午後4時	法人定款第19条の規定に基づき、2019年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況の調査

(4)外部会計顧問調査の実施

委託先	訪問月日	チェック項目
EY税理士法人	2020年12月22日(火) 午後1時30分 ～ 午後5時30分	前年度会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導 2020年4月～11月までの会計確認、経理規程との整合性チェック、会計実務指導

4. 役員研修の状況

実施年月日	研修名	参加者(役員区分)	研修日数	研修内容
2020年7月10日	社会福祉法人監査セミナー(オンライン研修)	上江洲 肇(理事)	1日	指導監査の方針や留意点について確認し、社会福祉法人の経営基盤の強化を図る。

5. 資産(土地・建物)等の状況

(1)自己所有資産の状況

基本財産(土地)	所在地	地目、構造及び用途	面積(m <sup>2</sup> )	取得	担保提供
	字与那原2943番地	宅地-施設用地	19182.08	S48.2.1	無
字与那原2960番地	〃	915.39	S47.8.29	無	
字与那原2974番の1	〃	1164.96	S48.2.1	無	
字与那原2969番地	〃	689.49	S47.7.25	無	
字与那原2959番2	〃	19.10	S58.8.19	無	
基本財産(建物)	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート平屋建-体育館	507.83	S45.3.15	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート3階建-愛の園	817.36	S63.3.31	無
	字与那原2943,2969番地	鉄筋コンクリート平屋建-厨房棟	182.51	S55.6.30	無
	字与那原2943番の8	軽量鉄骨平屋建-店舗	24.12	H7.12.1	無
	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート4階建-児童宿舍	2595.40	H13.9.18	無
	字与那原2943番の7	鉄筋コンクリート平屋建-分別場	70.58	H21.2.17	無
運用財産					
(1)土地					
(2)建物	字与那原2943番地	鉄筋コンクリート造-苗置場	66.00	S38.7.1	無

(2)借地等の状況

土地	所在地	地目、構造及び用途	面積(m <sup>2</sup> )	契約の有無(相手方)
	字与那原浜田原2998-14	井戸敷地	21.44	有(沖縄総合事務局)
建物	非公表	こひつじの家	200	有(神谷光信)
	非公表	ともしびの家	70	有(奥平絹子)
	南風原町字本部434-11	グループホーム愛さ	100	有(浦崎隆子)
	与那原町字東浜86-2	グループホーム美さ	75.14	有(仲里武史)

6. 公益的な地域貢献活動への取組状況

- ① 園庭解放及び電話やメール等により、地域の子育て家庭を対象とした相談支援
- ② 地域住民等へ体育館、グラウンド、マイクロバス等を貸出し、地域福祉及び教育活動を促進(小中学校クラブ活動、地域のクラブ活動、地域の保育園行事、教会行事等)
- ③ 福祉人材育成活動として、福祉養成学校等の実習生の受入れによる福祉人材の育成
- ④ 児童虐待防止ネットワークへの参画(要保護児童対策地域協議会)
- ⑤ 障害の理解促進の取り組みとして、地域住民の交流による理解促進(バザー、町内外イベントへの参加)
- ⑥ 複数法人連携事業への参画として、連携事業への参画による地域のセーフティーネット構築(学校、警察、民生委員児童委員、町福祉課、町子育て支援課、町障害福祉課、町社協)
- ⑦ 災害時に備え、地域の災害時一時避難場所として指定し、地域住民と連携した防災体制の構築

7. 管理者会議、苦情解決委員会、その他の委員会の開催

(1) 管理者会議の開催

① 管理者会議 2020年4月13日(月)	① 県指導監査の結果の件 ② 第1回理事会開催の件 ③ 新型コロナウイルスに関する件 ④ 休職職員の件 ⑤ 理事会・評議員会等開催計画
② 管理者会議 2020年5月12日(火)	① 監事監査資料の確認 ② 第1回理事会開催の件 ③ 新型コロナウイルスに関する件 ④ 休職職員の件
③ 管理者会議 2020年6月5日(金)	① 労働法改正に伴う規程整備の件 ② 新型コロナウイルスに関する件 ③ 定時評議員会開催の件 ④ 休職職員の件
④ 管理者会議 2020年7月10日(金)	① 2020年度愛隣園福祉バザーに伴う実行委員会 ② 労働法改正に伴う規程整備の件 ③ 新型コロナウイルスに関する件
⑤ 管理者会議 2020年8月7日(金)	① 労働法改正に伴う規程整備の件 ② 理事会及び評議員会等開催計画
⑥ 管理者会議 2020年9月11日(金)	① 非常勤職員の時給改正の件 ② 規程整備の件 ③ 理事会及び評議員会等開催計画
⑦ 管理者会議 2020年10月13日(火)	① 理事会開催の件 ② 理事会及び評議員会等開催計画 ③ 2021年度人事の件 ④ クリスマス礼拝・祝会の件 ⑤ 社会福祉法人及び社会福祉施設一般監査の実施の件
⑧ 管理者会議 2020年11月4日(水)	① 理事会開催の件 ② 理事会及び評議員会等開催計画 ③ 2021年度人事の件 ④ クリスマス礼拝・祝会の件 ⑤ 社会福祉法人及び社会福祉施設一般監査の実施の件
⑨ 管理者会議 2020年12月21日(月)	① 第2回理事会承認後の規程確認 ② 理事会及び評議員会等開催計画 ③ 2021年度人事の件
⑩ 管理者会議 2021年1月26日(火)	① 任期満了に伴う現役員等の意思確認の件 ② 県指導監査の実施による口頭指導等の件 ③ 第3回理事会開催の件 ④ 理事会及び評議員会及び評議員選任・解任委員会の開催計画 ⑤ 2021年度人事の件
⑪ 管理者会議 2021年2月9日(火)	① 任期満了に伴う役員改選の件 ② 第3回理事会開催の件 ③ 監事監査、理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会開催計画の件 ④ 損害保険の加入の件 ⑤ 2021年度人事の件
⑫ 管理者会議 2021年2月25日(木)	① 指導監査の結果の件 ② 任期満了に伴う役員改選の件 ③ 第3回理事会開催の件 ④ 監事監査、理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会開催計画の件 ⑤ 2021年度人事の件
⑬ 管理者会議 2021年3月17日(木)	① 任期満了に伴う役員改選の件 ② ワークセンター愛の園職員配置の件 ③ 第3回理事会開催の件 ④ 監事監査、理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会開催計画の件 ⑤ 2021年度人事の件 ⑥ 職員表彰の件 ⑦ 退職辞令交付式の件 ⑧ 2021年度辞令交付式の件

(2) 苦情解決委員会の開催

① 苦情解決委員会 6月17日(水)	①2020年4月～6月の苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③その他(次回苦情解決委員会の開催日について)
② 苦情解決委員会 7月15日(水)	①6月～7月現在までの苦情受付状況について ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③その他(次回苦情解決委員会の開催日について)
③ 苦情解決委員会 9月16日(水)	①7月～9月までの苦情受付状況について ②苦情受付報告に対する質問・意見・助言等 ③その他(次回苦情解決委員会の開催日について)
④ 苦情解決委員会 10月21日(水)	①9月～10月の苦情受付状況について ②苦情受付報告に関する質問・意見・助言等 ③その他(次回苦情解決委員会の開催日について)
⑤ 苦情解決委員会 11月18日(水)	①10月～11月の苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に関する意見・情報交換 ③その他(相談支援事業所じょいまーるについて・次回開催日について)
⑥ 苦情解決委員会 3月17日(水)	①12月～3月の苦情受付状況の報告 ②苦情受付報告に関する助言・質問等 ③その他(次回苦情解決委員会の開催日について)

## 2020年度児童養護施設 愛隣園 事業実績報告書

### 1. 「主な取り組み事項」

2002年度養護目標・・・自主性を育む

《重点努力目標》

- ・日々の生活の中で感謝の気持ちを育てる。
- ・自ら考え行動できるような言葉かけを行う。  
(指示的な言葉かけだけにならない)
- ・気持ち良いあいさつを通して社会性を育む。
- ・褒める場面を増やし、自己肯定感を高める

#### ①各項目の養護反省（全体）

##### (1) 基本的生活習慣

就寝起床時間や朝の当番・お手伝い、テレビの視聴時間などについて子どもたちと話し合いながら、基本時間を設定し、各ホームや児童集会などで確認し合い実施しました。

幼児や年少児に対しては、いつでも気持ちよい就寝、起床ができるように絵本の読み聞かせや起床の声かけを丁寧に行い、早寝早起きを習慣づけるように支援しました。また、洗面、食事等の支援も児童の発達状況に合わせて行い、部屋の清掃等きれいな生活空間を提供する中で、気持ちの良い生活体験を通して自立を支援しました。特に高齢児については、できる限り個室が利用できるよう配慮し、個々の課題に丁寧に取り組めるよう継続して支援を行いました。

洗たくや自室の清掃等をそれぞれの発達段階に応じて指導し、労作や日常のお手伝いの中で勤労意欲を向上させるように努めたところ、楽しく労作活動等ができることが定着しています。

金銭管理については、小遣い帳をできるだけ自分で記帳させ、いつでも閲覧できるように配慮し、自分で金銭管理ができるようにしました。その結果、お金の使い方を工夫する児童も多くなり、小遣いを貯めて欲しい物を購入するなど、目標に向かって貯金できる児童も増えてきました。また、高校生が社会体験も含めたアルバイトをし、卒園後の準備金として貯蓄することができました。アルバイトによる社会体験により、対人関係において社会性が乏しい児童も成長が見られ、課題とされるコミュニケーション能力が向上することができました。しかしながら、あまりにもアルバイトに夢中になり、学業に影響を及ぼすケースも出た為、改めてアルバイトの規定について児童と話し合いながら、継

続いてアルバイトを奨励しながら支援をしていきます。

それぞれの児童の得意な分野において部活動やクラブ活動を奨励し、個別に作業時間や創作活動を設定して認められ体験を増やしてきました。また、個別支援を行い、障害を抱える児童の支援の充実に取り組み、児童デイの活用などにより個別に発達支援ができるようになりました。継続して取り組んでいきたいと思ひます。

## (2) 余暇活動

コロナの影響もあり、規模の縮小や時期の変更を行い、年齢、発達に応じた横割のプログラムを実施しました。(夏季キャンプ・じんぶん学校等)。特に、今年度は子どもたちから色々なアイデアが出た中で行事を実施することができたことはとても良かったと思ひます。また、招待行事などはコロナ禍で相次いで中止となりましたが、マスクや遊具のご寄贈など、子どもたちの余暇活動を充実できるようなご寄贈が多く、社会の皆様の温かいお気持ちに救われた一年でした。

学校の部活動やクラブ活動及び地域のサークル活動(サッカー、フットサルクラブ等)への参加を奨励したところ、続けて頑張る児童の自信や自己肯定感の向上に繋がっています。また、職員も部活動やクラブの父母会へ積極的に参加し、児童が地域の一員として大切にされ、好きな部活動やクラブ活動が継続できるようにサポートしていきます。今年度も、小学生の地域のクラブ活動については職員が父母会として関わることになるため、すべての土日、祝祭日に対応しなければならず、担当職員の勤務負担が増えることが課題となりましたが、今年度も地域の父母の協力のもと、やり通すことができました。

## (3) 児童自治会活動

小・中学生は児童集会を持ち、図画、作文、皆勤賞などで賞をもらった児童などに図書券をプレゼントし、意欲を向上させるよう取り組みました。特に愛隣園ニュースやクリスマス祝会プログラム表紙などの絵を児童から募集したところ、積極的に絵に興味を示す児童が増えており、褒められることの中で自信をつける良い機会となっています。

意見箱の活用について児童集会で適宜説明を行い、意見表明や苦情の申し出が活発になるよう話し合いました。また、児童集会で意見記入用紙を配布し、いつでも児童が意見箱を活用できるよう配慮しています。書かれた内容について第三者委員に開示し、苦情解決委員会にて助言などを得ながら児童への回答を行ってきました。意見記入用紙を変更し、第三者委員と児童が面接を行うことやお手紙が欲しいなどの要望が選択できるよう取り組みを継続しています。

中高校生については、部活動やアルバイトでなかなか自治会を活性化できない状況にあるため、小集団や個別の話し合いを増やし、児童の声を吸い上げる

ようにしてきました。高校生男子は、養護課長を中心に男子会を持ちました。児童らから小遣いの金額、門限や園の規則などについて不満の声も出てきましたので、高校生の弁当代を上げることから対応しました。不満だけではなく、自分の生活の場として本人自身が認識できるよう継続して話し合い、委員会活動の中に位置づけることで、現場の職員と児童で話し合いができるような自治会を目指していきたいと思ひます。

キャンプは、児童らと話し合いながら、児童らが要望する内容に沿って計画・実施できました。スマートフォンの所持については、外部講師のネットワークに関する研修を卒園する児童向けにリモートで実施することができました。児童らの意見を良かたちで生活に反映できるよう継続して取り組みを行いたいと思ひます。

また、高校生の入所も増加しており、入所前に丁寧に施設にあるルールの必要性、権利擁護の取り組み、進路の選択などの説明を行う必要性を強く感じており、インテーク用のパンフレットを作成、活用し実施する中で、入所前から高校生の意見を吸い上げることができるよう取り組みました。

#### (4) 性（生）の尊厳

CAP大人ワーク、子どもワーク、「いのちの教室」を実施予定であったが、コロナ禍で児童らのワークは中止となりました。ただし、個別の性教育は継続して行い、性的事故を防げるよう生活場面で性的な課題となっている部分について話し合い、職員の性や人権に対する意識を高め、生活場面での関わり方で職員が意識してよりよい言葉かけができるよう取り組みました。また、チェックリストを活用し、施設全体でどこか課題となっているか検証作業を進めているところです。

これまでの取り組みの中で職員も一緒に性について学ぶ機会となり、生活の場で子どもたちへの適切な支援ができるよう意識付けがなされており、来年度もより良い性（生）の研修を考えていきます。また、研修だけに留まることがないように、職員の意識、技術の向上を目標に今後も取り組みを続けていきます。また、神戸児童間暴力研究会との研究協議によって、当園に沿った児童間暴力予防のためのマニュアルやアセスメントの方法を確立できるよう取り組みたいと思ひます。

#### (5) 社会化の促進

学校PTAの役員及び地域PTAの係を輪番制で一ホームが担い、継続してPTA活動に積極的に参加しました。学校PTAにおいては、小学校で特に気になる児童の学年やクラスの環境委員として役員を引き受け、PTAの方々や先生方との連携強化に努めました。

今年度は、コロナ禍にあつて愛隣園福祉バザーが開催できず、地域の方々と



ボランティア活動を通して関わりが持てなかったのは残念でした。

体育館などの施設を地域の行事やスポーツ活動に開放し、地域の活動に協力してきましたが、コロナ禍で去年度よりは活動回数が減りました。今年度も、地域の民生委員や小中学校の初任者研修等の見学、施設説明を受け入れ、積極的に児童養護施設の理解を求めてきました。

週に1度の礼拝を教会やホームで行い、教会との連携を図り、教会で行われる行事（クリスマス、イースター、キャンプ、土曜クラブ等）への参加もコロナ禍で縮小や中止となってしまいました。行事の中止にてキリスト教への理解や教会員と児童、職員の交流を深められなかったのが残念でした。

これからも地域との繋がりを大切にし、地域へのボランティア活動や共同のプログラムを通して、児童が地域の一員として成長できるような環境づくりを目指していきます。

#### （6）施設機能の強化

施設機能強化推進費を有効に活用し、県内外への専門的な研修へ職員を参加させる予定でしたが、コロナ禍で計画していた研修の中止も相次ぎました。しかし、リモートによる研修も増えてきた為、環境を整備しリモート研修にて職員が希望する研修にも参加することができました。特に県外での研修においては、児童養護施設がこれから向かう方向性、より複雑化するニーズに対する支援のあり方等、全国的な取り組みや課題などを学ぶ機会となるため、他施設との情報交換の場としても継続して取り組んでいきたいと思ひます。

今年度も県の「沖縄県児童養護施設等資質向上支援事業」としてスーパーバイズ研修によるケース検討会・学習会が実施できました。当園の児童も多く通院しているクリニックの先生をお招きして研修できたことは、現場職員にとっては貴重な研修でした。また、大学教授である先生のSV研修も継続して開催することができ、職員をエンパワメントできたことは大変有難いと思ひます。コロナ禍でも、創意工夫により継続できた研修もあるので、より充実できるよう、来年度予定の九州研究大会沖縄大会の開催にも参画していきたいと思ひます。

今後も継続して研修を実施し、ケースの見立てのみならず、自立支援計画の策定と活用まで児童の支援に生かせるような研修の計画を立てていきたいと思ひます。

また、コロナ禍で回数は減りましたが、「こころサポート事業」の囑託医である先生をSVに迎え、個々のケースについてケース検討会を重ね、支援の方法について学習を続けてきました。特に、精神疾患を抱える母親の増加やDVによる親の心の傷など、家族への治療的介入や関わり方について学びを継続していきたいと思ひます。

基幹的職員研修にも2名が参加し、基幹的職員としての役割が担えるように

体制を整えました。処遇改善事業の研修においてはすべての主任が参加し、リーダー的な役割が担える体制強化を図りました。

来年度は、社会復帰予定者が1名、今年度短期大学進学し措置延長者1名が卒園予定なので、沖縄県社会福祉協議会を窓口とする貸付事業や虹のはしファン  
ドが窓口である給付型奨学金の活用を通して進学している児童の支援を予定  
しています。当園の後援会からの支援金制度の整備等をお願いし、児童が夢  
を持って進学、就職の選択ができる体制を整えて充実させていけたらと思いま  
す。

リービングケアについても、厚労省からの配置が求められている自立支援担  
当職員を活用し、社会に出るために必要な知識、経験ができるよう取り組みを  
充実させていきたいと思います。

#### (7) ボランティアの活用状況

活動内容	ボランティア人数	頻度	所属内訳
美化作業 プレゼント交流	25名	年1回	米軍スタッフ

今年度は、コロナ禍によりボランティア活動の受け入れや活動そのものも難し  
かったです。

#### (8) 関係機関との連携

家庭支援専門相談員を中心に、児童相談所、児童の家族に関わる関係機関や病院、保健師等と連携を図りました。ケースによっては、児童相談所とケース検討を行いました。

小・中学校並びに警察署とは、日頃の連携はもちろん、園児の情報交換や地域の子どもの状況について話し合うなど、情報の共有に努めました。今後も各関係機関との連携強化や児童への支援の充実に努めていきたいと思います。

アフターケアについても、障害者支援センターとの連携や沖縄県自立支援事業所「にじのしずく」など、必要に応じて関係機関と連携して対応してきました。

また、今年度からは地域の児童デイが活用できるようになり、発達障害等を抱える児童にとっては個別に十分な活動ができるようになりました。

#### (9) 家庭復帰促進と小規模ケア

家庭支援専門相談員を中心に児童相談所や関係機関と連携のもと、親や親族との関わりを密にすることができ、親子交流を継続してきました。特に今年はコロナ禍とあって、手紙や電話交流など工夫をしながら親子関係を構築してきました。年度途中で家庭復帰になったケースが4ケースでした。複雑化する家庭状況もあり、家族の再統合の方法も多岐に渡ってきました。児童の視点に立ちつつ、適切なアセスメントができるよう取り組んでいきたいと思います。

FSW を中心に親との関係づくりを継続する中で、就労や家庭復帰に意欲が見られてきた親も見られてきたので、継続して親や関係機関との連携を強化し、子どもたちの意見も反映しながら、「子どもたちの最善の利益」「家族の再統合」に向けて働きかけていきます。

また、家庭復帰後のアフターケアについても地域の関係機関との連携のもと、必要に応じて支援体制を確立し、親へのサポートを継続して行う必要があるケースについては、継続して取り組んでいきたいと思えます。

家庭支援専門相談員による家族等に対する年間の主な取組状況

家庭訪問	関係機関との連携	ケースのモニタリング会議	親への就労支援等	卒園児に対するアフターケア	親との面談(来所)
20回 (8ケース)	22回	68回 (35ケース)	6回 (1ケース)	5ケース	15回

(10) 被虐待児等地域療育支援・体制構築事業(こころサポート事業)の推進と評価

今年度も県内里親、FH(ファミリーホーム)を対象に療育コーディネーター及び心理士による面接、相談支援や各こころサポート事業所との連携により、研修などを企画し、里親、FH向けに発達障害の理解や養育について講師を招いて勉強会を実施しましたが、コロナ禍にあつて開催数が減り、里親など外部へのアプローチなども厳しい状況でした。

里親、FH主催の連絡会や行事は可能な限り開催し、里親、FHの現状を把握する中で情報を共有しながら、各種制度についても情報提供を行いました。

こころサポート事業による主な年間の取組状況

里子への児童面接(相談員)	里子への心理面接(心理士)	里親宅訪問	連絡会・研修会企画実施	嘱託医によるケース検討会・支援者面接	里親との面接及び電話相談等
0回 (26回)	0回 (64回)	0回	連絡会10回 研修企画1回	検討会(4回4ケース)	26回 (3ケース)

( )内は当園児童の対応回数

(11) その他  
人材育成について  
実習生の受け入れ状況

	学校名	人数	期間
保育 実習	沖縄福祉保育専門学校	2名	R3年 1/11~1/21 (10日間)
		2名	R3年 2/1~2/11 (10日間)
	沖縄女子短期大学	2名	R2年 10/5~10/9 (5日間)
		1名	R2年 11/4~11/8 (5日間)
		1名	R2年 11/16~11/20 (5日間)
	育成保育カレッジ	1名	R2年 11/2~11/12 (10日間)
	沖縄キリスト教短期大学	2名	R3年 2/15~2/25 (10日間)
1名		R3年 3/1~3/11 (10日間)	
エルケア医療保育	2名	R2年 6/30~7/10 (10日間)	
	1名	R2年 7/16~7/26 (10日間)	
尚学院 (SIBA)	2名	R2年 10/14~10/24 (10日間)	
合計	6校	20名	150時間

今年度の実習は、コロナ禍により短縮、中止となる学校もあり、受け入れが困難な時期もありましたが、安全面に配慮しながら可能な限り受け入れ体制を整えてきました。

② 児童の月別在籍状況(各月初日現在)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均在籍数
男	18	18	18	17	17	16	15	15	15	15	15	15	16
女	22	22	22	20	20	20	20	20	19	19	19	19	20
計	40	40	40	37	37	36	35	35	34	34	34	34	36

(地域小規模児童養護施設「こひつじの家」男子5名、「ともしびの家」女子6名含む)

③ 児童の学年別状況(2021年3月1日現在)

学年	小学生							中学校				高等学校				幼稚園児	保育園児	高等特別支援学校	能力開発校	その他	合計
	一年	二年	三年	四年	五年	六年	小計	一年	二年	三年	小計	一年	二年	三年	小計						
男	1	0	0	2	3	1	7	2	1	2	5	2	1	0	3	0	0	0	0	0	15
女	1	2	3	1	2	0	9	2	2	3	7	1	0	2	3	0	0	0	0	0	19
計	2	2	3	3	6	2	3	4	5	5	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	4

④ 児童の入退園状況  
(2020年4月1日～2021年3月31日)

	入所	退所
男	0	3
女	2	5
計	2	8

⑤ 退園・家庭復帰状況  
(2020年4月1日～2021年3月29日)

	家庭復帰	就職	進学(自立)	措置変更
男	1	0	0	2
女	3	0	1	1
計	4	0	1	3

大学進学者2名のうち、1名は、2021年度へ措置延長となる。(この統計に含まれず)

⑥ 就進学状況

	性別	就職	高校進学	就職進学	訓練校	大学・専門学校進学	その他	合計
中学生	男	0	2	0	0	0	0	2
	女	0	3	0	0	0	0	3
訓練高校生	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	2	0	2

⑦ 児童の年度別入退園状況(2021年3月31日現在)

	入 園			退 園		
	男	女	計	男	女	計
1953年度	36	29	65	0	2	2
1954年度	10	12	22	11	14	25
1955年度	8	19	27	13	14	27
1956年度	9	7	16	8	4	12
1957年度	8	14	22	21	15	36
1958年度	29	6	35	3	9	12
1959年度	10	6	16	13	6	19
2000年度	8	4	12	7	4	11
2001年度	9	7	16	9	4	13
2002年度	5	5	10	4	5	9
2003年度	3	5	8	5	4	9
						
2011年度	0	0	0	6	2	8
2012年度	4	8	12	7	7	14
2013年度	3	1	4	5	7	12
2014年度	7	5	12	3	6	9
2015年度	3	3	6	3	1	4
2016年度	2	3	5	0	0	0
2017年度	0	1	1	2	1	3
2018年度	1	0	1	1	1	2
2019年度	4	0	4	7	2	9
2020年度	0	2	2	3	5	8
合 計	594	508	1102	575	495	1070

⑧ 週間及び毎月の行事・会議

	行 事 ・ 会 議
週 間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理士・ホーム連絡会</li> <li>・FSW・ホーム連絡会</li> <li>・教会学校</li> </ul>
月 間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全体会議</li> <li>・ホーム会議</li> <li>・防火避難訓練(夜間想定含む)</li> <li>・苦情解決委員会</li> <li>・管理者連絡会</li> <li>・養護課会議</li> <li>・全体労作</li> <li>・ケース検討会等</li> <li>・児童集会</li> <li>・総務課会議(偶数月)</li> <li>・聖書勉強会</li> </ul>
毎 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝会及び礼拝(月曜～金曜9:15～)</li> </ul>

# 2020 年度ワークセンター愛の園事業実績報告

## 1. 事業概要について

指定障害福祉サービス事業所（多機能型事業所）として、就労継続支援 B 型事業（定員 34 名）、就労移行支援事業（定員 6 名）、共同生活援助事業（定員 9 名）、相談支援事業のサービス提供を行いました。就労継続支援 B 型については、新たに 4 名の利用者が入所し 44 名の利用実績となり、六つの作業班でさまざまな業務内容に応じた訓練・支援を行いました。一方、就労移行支援事業については 6 名の定員に対し利用者がおらず停滞した状況が続いていますが、今後の利用ニーズの動向を見ながら生活介護事業等への事業展開を含め総合的な検討が必要です。共同生活援助（定員男子寮 5 名、女子寮 4 名）は満床で推移し順調な運営ができています。また、昨年 2 月に開所した相談支援事業所「じょいまーる」では、与那原町、西原町、南城市の 3 市町の方々を対象にサービスの提供を行いました。現在、利用契約者数が 82 名に達しており、今後も利用ニーズの高さが予想されるため、相談員の増員や対象地域の拡大等、さらなる事業の展開を検討しているところです。

## 2. 事業所運営について

### 1) 施設整備・車両購入等

- ・収集作業用 2t ダンプ車がエンジントラブルにより使用不可となったため、新しいダンプ車を購入しました。
- ・事務所用軽自動車が老朽化により修理不能となったため、中古軽自動車を購入しました。
- ・新型コロナウイルス感染対策のため、空気清浄機 8 台他、不織布マスク、消毒用アルコール、飛沫防止用クリアボード等を購入し対策を強化しています。
- ・熱中症対策のため分別場休憩所内に冷房機器を設置しました。
- ・本体施設内照明設備の老朽化に伴い、電気代節約も兼ねて LED 電球への取り替え工事を行いました。

### 2) 作業科目について（就労継続支援 B 型事業・就労移行支援事業）

- ・公園班（与那原公園除草業務、ゆうゆう公園除草作業、与那原中央病院敷地内除草作業、）
- ・収集分別班（与那原町リサイクル資源物収集及び分別業務）
- ・家政 A 班（手芸品・リサイクル商品の受け取り及び売店での販売、花苗販売、無農薬野菜の販売、下請け作業）

- ・家政 B 班（与那原町 3 公園清掃、下請け作業、室内清掃・消毒）
  - ・園芸班（販売及び植栽用花苗・鉢物・貸鉢用プランター作り）
  - ・出向班（那覇市公園花壇植栽維持管理業務、沖縄教区霊園管理業務、県議会庁舎敷地内花壇植栽維持管理業務）
- \*それぞれの班に利用者を配置し、年間を通して施設外就労訓練や作業訓練を実施し、一人一人の障がい特性や心身の状態、利用者の意向を聞きながら個々のペースに合った支援に努めました。

### 3. 利用者に関する事項について

#### 1) 利用者の入退園の状況について

男性利用者 3 名、女性利用者 1 名が入所しました。

男性利用者 1 名が退所しました。

#### 2) 利用者入園期間及び年齢について

入園期間 15 年以上の利用者が 70%を占め、40 歳以上の割合も 80%近くになっており、加齢による身体機能や体力低下に対しての支援や提供サービスの対応が課題になっています。

#### 3) 生産活動及び工賃支給状況について

家政班については、手芸品の製造と売店での販売、リサイクル商品や堆肥・土の販売、農家から季節の無農薬野菜を直接仕入れ販売等を行っています。また、園芸班の育てた花の苗を年間を通して販売しています。2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響でさまざまな行事やイベント等が相次いで中止となり、就労支援事業収入にも大きな影響がありました。しかし、工賃変動積立金を取り崩すことにより利用者一人当たりの月平均支給額、約 26,000 円を維持することができました（全国平均は 15,000 円）。

#### 4) 受託業務について

日本キリスト教団沖縄教区の霊園管理業務を始め、公共事業（那覇市公園花壇管理、県議会庁舎内花壇植栽維持管理、与那原町資源ごみ収集分別作業、与那原町内公園 3 ヶ所の除草清掃作業及びトイレ清掃作業）を受託し就労支援収入の大きな柱とすることができました。

#### 5) ミニショップじょいまーるについて

ミニショップじょいまーるはオープンして 15 年目を迎えます。地域の方々との交流の場として、リサイクル商品の引き取り及び販売、家政班で制作した手芸品や花苗の販売、無農薬野菜の販売など、コロナ禍のなか感染対策に努めつつできる範囲内での活動に取り組んできました。しかしながら、沖縄県独自を含む 3 回の緊急事態宣言が発出され、その都度売店での販売活動を休止せざるを得なかったり、施設外での販売活動やイベント（役場販売、与那原大綱引き



出店、福祉祭り等)への参加が制限されるなど困難の多い一年でした。依然としてコロナ禍の厳しい状況が続いておりますが、これを機に新しい環境下における販売活動の見直しや、利用者支援の再構築など、ミニショップじょいまーるの新たな展開に向けリニューアルを図っていきたいと思います。

#### 4. 職員に関する事項について

- 1) 退職者3名、採用3名
- 2) 県外研修及び県内研修については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で予定されていたほとんどの研修やイベントが中止、延期となり、職員派遣を十分に実施することができませんでした。

#### 5. 2020年度中に実施した主なプログラムについて

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響でさまざまなイベントや行事、研修等が相次いでキャンセルとなり、活動の自粛を余儀なくされてしまいましたが、園内で実施できるプログラム(女子利用者対象のおしゃれクラブや利用者の余暇活動)や感染防止に配慮した園内行事(レク大会やドライブ、公園遊び等)を工夫して実施しました。

#### 6. 共同生活援助事業について

グループホーム「愛さ」は2014年3月の事業開始から7年目となり、「美さ」は2016年10月の開所から5年目を迎えました。利用者一人一人の障がい特性や体調に合わせて、サービス管理責任者及び世話人を中心に、担当職員や家族との連携のもと、基本的な生活習慣の確立や身の回りの整理整頓、洗濯、調理指導など地域の中で自立をめざした支援に取り組んできました。平日は、施設にて日中活動に取り組み、活動後はグループホームに帰宅。土日祝日は、一時帰省や余暇支援で外出を楽しんだり、年数を重ねるごとに自由かつ主体的に過ごすことができている。現在、共同生活援助事業は男子棟と女子棟の2ホームのみの運営に留まっていますが、喫緊の課題である“利用者の高齢化”や“親なき後の生活”も見据え、グループホームの増設を早急に進めていく必要があります。今後とも利用者及び家族の様々なニーズの対応をより強化しつつ、地域の中で自立し安定した生活が送れるよう関係機関と連携を図りながら、さらなる事業展開を進めて行きたいと思っております。

#### 7. 相談支援事業所「じょいまーる」について

2020年2月に開所した相談支援事業所「じょいまーる」も事業開始から2年

目を迎えました。与那原町、南城市、西原町の3市町の利用希望の方々を中心に、障害福祉サービス等利用計画の作成及びモニタリングの実施や一般相談等のサービス提供を行ってきました。対象者が、知的に障がいのある方、精神に障がいのある方、身体に障がいのある方（肢体不自由・視覚・聴覚言語・内部障害）、障がいのある児童（身体・知的・精神）、難病の方と多岐にわたるため、相談員にはさまざまな知識と経験、またそれに基づいた支援技術等、高い資質が求められることを日々痛感しています。また近年、一般社会における発達障害への関心の高まりや、自閉スペクトラム症等に対する理解の広がりなどもあり、障がい児の利用ニーズが急速に増加していることも身近に感じています。相談事業を通じリアルタイムで障がいを持つ方々や地域の幅広いニーズを知ることができ、ワークセンター愛の園の事業への相乗効果や、今後の事業展開の方向性を探るうえでも貴重なものになっています。現在、利用契約者数が障がい児・者、合わせて82名で、3市町以外の方からも契約の相談に関する問い合わせがあるため、今後は対象地域の拡大や相談員の増員（人材確保）、資質向上のための研修の充実（人材育成）等自己研鑽を図りつつ、さらなる事業展開を進めていく必要があります。

## 施設の概要

### 1 事業の目的

障害者総合支援法にいう指定障害福祉サービス事業における、就労継続支援B型事業及び就労移行支援事業及び共同生活援助事業、相談支援事業の円滑な運営管理を図るとともに、キリスト教的愛の精神で常に利用者の立場に立った適切な支援の提供を目的とする。

### 2 施設開所年月日

1988年(昭和63年)4月1日

2009年(平成21年)10月1日…指定障害福祉サービス事業へ移行

### 3 設置主体及び経営主体 社会福祉法人基督教児童福祉会 愛隣園

- 4 施設の規模及び構造
- (1) 敷地面積 4,399.50 m<sup>2</sup>
  - (2) 建物の面積 床面積 746.89 m<sup>2</sup>
  - (3) 建物の構造 鉄筋コンクリート造2階建

### 5 事業所の名称及び所在地

指定就労継続支援B型及び指定就労移行支援を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名称 指定障害福祉サービス事業所 ワークセンター愛の園

所在地 沖縄県島尻郡与那原町字与那原2943番地

指定共同生活援助を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名称 グループホーム 愛さ

所在地 沖縄県島尻郡島尻郡南風原町字本部434-11

名称 グループホーム 美さ

所在地 沖縄県島尻郡島尻郡与那原町字東浜86-2フォーレストSK101

指定特定相談支援及び指定障害児相談支援を行う事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

名称 相談支援事業所 じょいまーる

所在地 沖縄県島尻郡与那原町字与那原2943番地

### 6 提供する指定障害サービスの種類、利用定員及び主たる対象者

事業者が本事業において提供する指定障害福祉サービスの種類、利用定員及び主たる対象者は次のとおりとする。

指定障害福祉サービスの種類	利用定員	主たる対象者
就労継続支援B型事業	34名	知的障害者
就労移行支援事業	6名	知的障害者
共同生活援助事業	9名	知的障害者
相談支援事業		知的障害児・者

### 7 作業科目

【就労継続支援B型】・【就労移行支援】

		支援員	利用者
1	公園及び病院敷地内保清作業	公園班	1 4
2	リサイクル資源収集及び分別作業	収集分別班	4 19

3	手芸品製作及び常設売店販売担当	家政A班	2	8
4	公園トイレ清掃・下請作業	家政B班	1	3
5	販売用苗・鉢物・貸鉢用プランター作り	園芸班	1	6
6	那覇市等花壇植栽維持管理作業	出向班	1	4
		計	10	44名

## 8 職員体制

	就労移行支援	就労継続支援B型	共同生活援助	計画相談支援
管理者	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)
サービス管理責任者	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	—
生活支援員	1名	1名	—	—
職業指導員	1名	6名(1名兼務)	—	—
就労支援員	1名	—	—	—
目標工賃達成指導員	—	1名	—	—
事務員	—	1名	—	—
世話人	—	—	5名	—
相談員	—	—	—	2名(1名兼務)
送迎運転手	—	1名	—	—

## 9.利用者に関する事項

### [1]入退園の状況(就労継続支援B型・就労移行)

本年度内における利用者の入退園の状況は下記のとおりである。

	入園	退園
男	3	1
女	1	0
計	4	1

### [2]在所期間の状況(就労継続支援B型・就労移行)

2021年3月31日現在

期間 性別	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	合計
男	3	1	1	2	4	16	27
女	1	0	0	1	3	12	17
合計	4	1	1	3	7	28	44
割合	9%	2%	2%	7%	16%	64%	100%

### [3]月別皆勤者数【平均27人】70%

2021年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	15	16	20	19	17	15	16	19	18	18	19	19	18
女	7	7	13	8	8	6	10	13	12	10	13	10	10
合計	22	23	33	27	25	21	26	32	30	28	32	29	27
在籍数	41	41	42	42	42	43	43	44	44	44	44	44	43

### [4]退園者の状況

2021年3月31日現在

性別	就職	解除	変更	計
男	0	0	1	1
女	0	0	0	0
合計	0	0	1	1

### [5]利用者の年齢別状況【平均38歳】

2021年3月31日現在

性別	20才未満	20～29	30～39	40～49	50以上	計
男	0	1	5	10	11	27
女	0	2	2	9	4	17
計	0	3	7	19	15	44
割合	0%	7%	16%	43%	34%	100%

[6]障害種別

(就労継続支援B型・就労移行・共同生活援助)

	知的	精神	身体	計
男	26	1	0	27
女	16	1	0	17
計	42	2	0	44

(相談支援)

	知的	精神	身体	障害児	難病	その他	計
男	9	10	6	18	0	2	45
女	13	7	2	12	1	2	37
計	22	17	8	30	1	4	82

[7]地域別状況

(就労継続支援B型・就労移行・共同生活援助)

	那覇市	浦添市	南城市	西原町	南風原町	与那原町	中城村	計
男	8	1	7	5	2	3	1	27
女	6	2	6	2	1	0	0	17
計	14	3	13	4	3	3	1	44

(相談支援)

	与那原町	南城市	西原町	その他	計
者	22	14	11	4	51
児	16	8	7	0	31
計	38	22	18	4	82

[8]施設外就労訓練

	施設外就労 那覇市与儀 ・天久公園	施設外就労 与那原町 与原公園	施設外就労 与那原町 上の森・ゆう ゆう公園	計
男	4	2	2	8
女	0	2	2	4
計	4	4	4	12

[10] 年度別工賃支給状況

(単位:千円)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
生産活動収入	29,157	29,493	29,526	30,870	30,261	30,070	29,911	32,908	32,338	32,735	30,194
工賃支給総額	11,660	11,760	13,079	12,344	12,342	12,545	12,609	12,122	12,420	12,746	12,833
月平均支給額	20	20	23	22	22	24	26	26	26	26	26
平均利用者数	47人	48人	46人	45人	45人	42人	42人	40人	39人	41人	41.9人

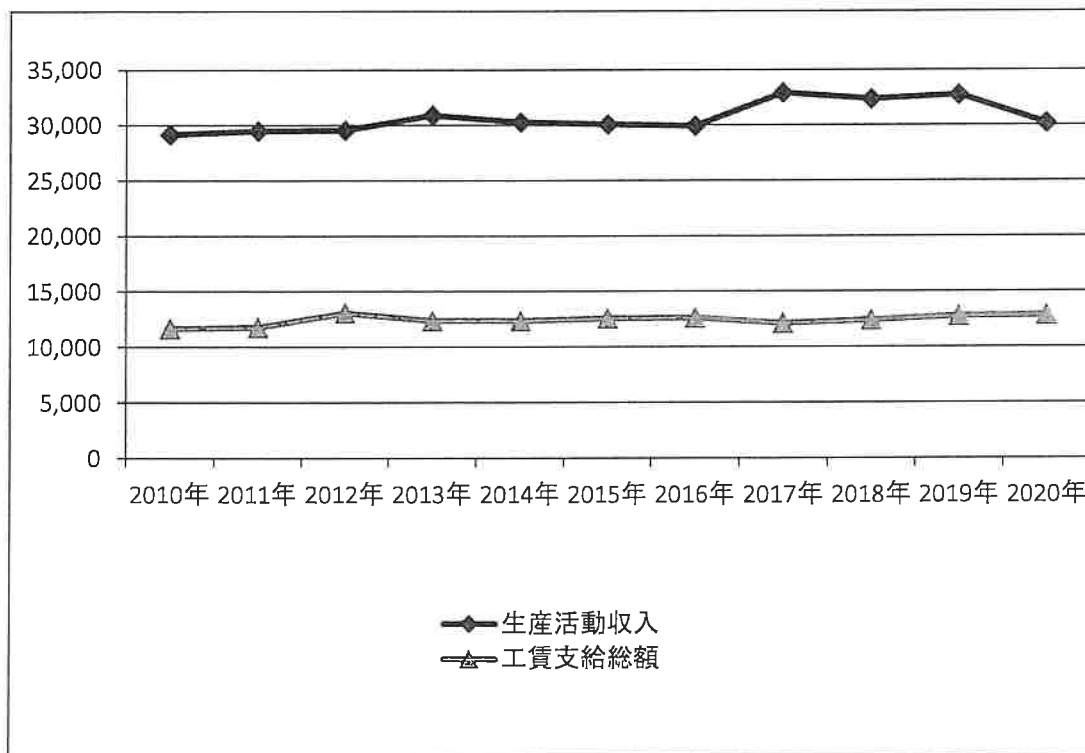
[11] 生産活動収入

(単位:千円)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
園芸・出向	7,678	7,940	7,239	6,552	6,282	5,574	4,934	7,008	5,678	6,243	6,066
公園・公園管理	4,523	4,316	4,299	4,419	3,163	3,373	3,731	4,609	5,599	3,743	2,983
収集分別 家政・売店	16,956	17,237	17,988	19,899	20,816	21,123	21,246	21,291	21,061	22,749	21,145
計	29,157	29,493	29,526	30,870	30,261	30,070	29,911	32,908	32,338	32,735	30,194

※ 生産活動収入 及び 工賃支給総額グラフ

(単位:千円)



[12]受託作業契約事業

2021年3月31日現在

	受託先	作業内容	職員	利用者	開始年月日	継続	
1	日本キリスト教団沖縄教区	霊園及び花壇植栽維持管理作業 〔毎月2回〕	1	4	1988年10月 (S63)	32	年
2	与那原町役場 (まちづくり課)	公園内の草刈・清掃 〔通年〕	1	4	1989年7月 (H1)	31	年
3	与那原町役場 (まちづくり課)	公園内公衆トイレ清掃作業〔週3回〕	1	4	1991年8月 (H3)	29	年
4	琉球銀行中部支店9店舗	貸鉢プランター 〔2カ月に1度〕	1	6	1993年4月 (H5)	28	年
5	那覇市役所 (公園管理課)	与儀公園他2ヶ所 花壇花卉植栽維持管理作業〔通年〕	1	4	1993年7月 (H5)	27	年
6	与那原中央病院	病院周辺の除草・清掃作業〔週1回〕	1	4	1993年10月 (H5)	27	年
7	与那原町役場 (生活環境安全課)	町内リサイクル資源収集分別作業〔通年〕	4	20	1997年4月 (H9)	24	年
8	沖縄県	県議会庁舎敷地内花壇植栽維持管理 〔入札〕	1	4	2020年6月	1	年

[13]下請作業

	業者名	作業内容	開始年月日	継続	
1	新垣瓦店(与那原町)	瓦コースターシール貼り、商品箱詰め	2006年	15	年
2	三倉食品(西原町)	レトルトパック箱詰め、シール貼り	2016年4月	5	年

[14]売店

	販売物
1	じょいまーる(常設売店) 無農薬野菜、焼き芋、古着、手芸品、食器等



10. 職員に関する事項

退職 職業指導員 職員2名 パート職員 1名  
 採用 職業指導員 職員2名 パート職員 1名

〔県外研修〕

	実施日	研修会名	場所	参加者	備考

〔県内研修〕

	実施日	研修会名	場所	参加者	備考
1	6月2日	与那原町相談支援部会	与那原町	職員2名	
2	7月7日	与那原町相談支援部会	与那原町	職員2名	
3	7月8日	与那原町生活環境安全課連絡会	与那原町	職員1名	
4	8月4日	与那原町相談支援部会	与那原町	職員2名	
5	8月19日	与那原町就労支援部会	与那原町	職員1名	
6	9月15日	与那原町相談支援部会	与那原町	職員1名	
7	9月16日	与那原町就労支援部会	与那原町	職員1名	
8	10月5日	与那原町地域生活拠点説明会	与那原町	職員2名	
9	10月6日	与那原町相談支援部会	与那原町	職員1名	
10	10月7日	与那原町就労支援部会	与那原町	職員1名	
11	10月29日	与那原町自立支援協議会	与那原町	職員2名	
12	11月10日	与那原町相談支援部会	与那原町	職員1名	
13	12月1日	与那原町相談支援部会	与那原町	職員1名	
14	12月11日	包括的支援体制推進セミナー	那覇市	職員2名	
15	12月16日	与那原町就労支援部会	与那原町	職員1名	
16	12月25日	与那原町地域生活拠点プロジェクトチーム会議	与那原町	職員1名	
17	1月12日	与那原町相談支援部会	与那原町	職員2名	
18	2月17日	与那原町就労支援部会	与那原町	職員1名	
19	3月2日	与那原町地域生活拠点プロジェクトチーム会議	与那原町	職員2名	
20	3月29日	与那原町自立支援協議会	与那原町	職員2名	
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					

○ 年間プログラム

4月	
5月	
6月	ピクニック
7月	健康診断 保護者会総会
8月	
9月	避難訓練
10月	グランドゴルフ大会
11月	レク大会
12月	クリスマス祝会 & 忘年会
1月	
2月	
3月	内科検診 避難訓練 激励感謝会

○ 月間プログラム

曜日	内容	担当
第1営業日	体重測定・グループホーム連絡会	利用者 サビ管・世話人
第2月曜日	管理者連絡会	管理者
第1木曜日	聖書勉強会	利用者・職員
第2水曜日	職員会議	職員
第3金曜日	企画会議	職員
第4金曜日	支援会議	職員
奇数月第3土曜日	園内行事等	利用者・職員
奇数月第3土曜日	保護者会	管理者・保護者

○ 日課プログラム

8:30	～	出勤・着替・職員ミーティング
8:40	～	朝会
9:00	～	作業開始
12:00	～	昼食・休憩
13:00	～	午後の作業
15:00	～	休憩
15:15	～	道具の後片づけ
15:30	～	作業終了・送迎サービス(第1グループ出発)
16:00	～	退勤・送迎サービス(第2グループ出発)
16:30	～	送迎サービス(第3グループ出発)